

ボランティア情報 月刊情報

2021
8月

- : プラザ催しなど
- : ボランティア・市民活動団体催しなど
- ▲ : 市民活動センターで行われる上記団体催し
- : ぼらぷら 休業日

日	曜日	催し物
1	日	きらきら書道 ▲
2	月	コミュニケーションマージャン体験会 ▲
3	火	
4	水	
5	木	育児ファミサポってなあに講座 ●
6	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
7	土	みきおもちゃ病院 ▲ パソコン定期相談会 ●
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
14	土	
15	日	
16	月	コミュニケーションマージャン体験会 ▲
17	火	
18	水	
19	木	市民活動センター 休館日
20	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
21	土	みきおもちゃ病院 ▲ パソコン定期相談会 ●
22	日	
23	月	
24	火	はじめての Zoom 体験会 ●
25	水	
26	木	
27	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
28	土	はじめての Zoom 体験会 ●
29	日	
30	月	コミュニケーションマージャン体験会 ▲
31	火	

エントリー締め切り迫る!!

令和3年度 県民ボランティア活動助成

エントリー受付は
8月31日(火)まで!

エントリーの条件

- ボランティア活動プラザみきに情報把握シートを提出していること
- NPO 法人格を持っていないこと
- 団体構成人数が5人以上であること
- R3年4月1日～R4年3月31日の間に、10日以上活動を予定していること
- 助成対象経費が5万円以上になる見込みがあること。

上記5項目すべてに が入れば、あなたの団体もエントリーできます。

受付窓口

ボランティア活動プラザみき (☎ 0794-83-0090)
よかわステーション (☎ 0794-72-2940)

チームICT パソコンの定期相談会

チームICTは、市民活動センター施設サポーターとして登録しているサポーターです。パソコンで資料が作りたい。写真を取り込みたいなどご相談ください。

- 日 時：毎月第1・3土曜日 10:00～12:00
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090
- * 申込不要
- * 一緒に活動して下さる方を募集しています。
- * 混雑状況によっては、お待ちいただく場合があります。

はじめての Zoom 体験会

「最近よく聞くZoomってなに?」「やってみたくけれど、インターネットって苦手…」など、これからZoomをはじめようとお考えの方の疑問・不安にお応えするZoom導入のための学びの場を開催します。

- 日 時：8月24日(火) 9:30～11:30
8月28日(土) 13:30～15:30
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090
- * 申込が必要です。(定員各回10名程度)

ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

(発行)
三木市社会福祉協議会
ボランティア活動プラザみき
〒673-0403
三木市末広 1-6-46
(市民活動センター内)
TEL 0794-83-0090
Fax 0794-82-6666
e-Mail mvsc@miki.or.jp

8

Vol.285
2021.8.1

令和3年度

受講生募集

ボランティア・市民活動講座のご案内

今回募集する講座では、視覚に障がいのある方に情報を伝える活動に役立つ技術「点訳」「朗読・音訳」を学べます。私たちの暮らしの中には目で読み取る情報が数えきれないほどあり、見ることに不自由のない人はそれほど意識しなくても手に入れることができます。視覚に障がいのある人も同じように情報を入手しながら日常生活を営み、社会とのつながりや楽しみをもちながら豊かに過ごせるよう、支援の輪を広げましょう。

点訳とは?

墨字(活字)で書かれている書籍や雑誌、広報誌、新聞などの内容を点字にして伝えます。「触る文字」とも言われ、公共施設やさまざまな商品などで目にする機会が多くなりましたが、生活に根ざした点字はまだ不足しています。視覚に障がいのある方に、日常生活に密着した情報を届けることができます。

点訳ボランティア 初級技術講習会

【日時】9/7～11/9 (毎週火曜日、全10回)
いずれも10:00～12:00

【定員】15名
【会場】三木市立市民活動センター
【内容】視覚障がい者への理解を深める
点字、点訳について 等
【受講料】2,500円(テキスト代等)

視覚に障がいのある方へ点訳を通じて情報提供ができるボランティアの養成を図る講習会です。

朗読・音訳とは?

朗読は読み手の解釈や感情を込めたり、内容を読み替えたりして読んだもので、聞き手(視覚に障がいのある方)はその情報を鑑賞します。音訳は聞き手の「目の代わり」として、内容が正しく伝わるよう、情報を声に置き換えます。2種類の伝え方で、視覚に障がいのある方に豊かな情報を届けることができます。

朗読ボランティア 初級技術講習会

【日時】10/8～12/3
(11/19日を除く毎週金曜日、全8回)
いずれも10:00～12:00

【定員】10名
【会場】三木市立市民活動センター
【内容】朗読技術の基本について 等
【受講料】2,500円(テキスト代等)

視覚に障がいがある方へ朗読・音訳を通じて情報提供ができるボランティアの養成を図る講習会です。

※ マスク着用、手指や物品の消毒等、感染予防対策を徹底し、開催いたします。感染拡大状況により、内容を変更する場合がありますが、ご了承ください。

お待ちしております!

申込み・問合せ先

ボランティア活動プラザみき
☎ 0794-83-0090 / Fax : 0794-82-6666 までご連絡を。

9/1より
ボランティア・市民、地域のエンパワメント支援
VOLAPLA
ホームページ
OPEN!!

より手軽に、より分かりやすく情報をお届けするために・・・
ボランティア活動プラザみきのホームページを開設します。
ボランティアの情報を探している方や、ボランティア・市民活動団体の方に向けた情報を発信していきます。

<https://www.volapla-miki.com/>

パソコン、スマートフォンから
今すぐアクセス!!

右のQRコードを読み取るか、URLを直接入力してホームページにアクセスしてください。



ぼらぷらみき

ぼらぷらみき ホームページの特徴を紹介!



トップページ

プラザからのお知らせや、ボランティアの募集を掲載します。
Facebook ページ「ぼらぷら情報局」には、プラザや地域、ボランティア・市民活動に関する最近の出来事をタイムリーに発信しています!!

マガジン

過去1年分のマガジンを見ることができます。

ボランティア・市民活動団体情報

ボランティア活動プラザみきが把握しているホームページへの掲載可の団体をご紹介します。
活動分野別に、様々な入り口から探しやすい作りになっています。

活動の対象者

- ◆高齢者
- ◆障がい者
- ◆子ども・青少年

団体の性質

- ◆セルフヘルプグループ(当事者団体)
- ◆NPO法人

活動の内容

1. 健康・医療・福祉

保健や医療に関すること、高齢者や障がい者の生活に関する活動、地域のつながりづくりと関わりあう暮らしを目的に、身近な地域の拠点で住民が集うふれあいサロン活動

- ◆手話・点字等、情報保障
- ◆暮らし生活支援
- ◆余暇支援
- ◆障がい者の就労支援
- ◆地域活動支援
- ◆健康づくり・医療
- ◆認知症とその家族の支援

助成金情報

助成金等名称 (申請等期日・期間)	助成内容	問合せ・申込先
公益財団法人 大阪ガスグループ福祉財団 2021年度 高齢者福祉助成 〔申込締切〕 8月31日(火)	<p>〔目的〕 活力あふれる長寿社会を実現するため、「高齢社会における地域福祉づくり活動」に対して助成する。</p> <p>〔対象〕 高齢者を対象とする地域福祉活動や、高齢者自身の社会参加活動あるいはそれを支援する活動等 ＜例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者自身が積極的に地域とのかかわりを持つ活動 ・高齢者の社会参加やいきがい作りを支援する活動 ・高齢者の日常生活や自立を支援する活動 ・高齢者を支えるための地域づくり、街づくりの活動 <p>〔補助金額〕 1件(1団体)あたり上限15万円 〔問合せ先〕 公益社団法人大阪ガスグループ福祉財団 〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-4-11 ☎06-6203-1028 ✉og-hukushi@osakagas.co.jp</p>	<p>募集要項・申込書は大阪ガスグループ福祉財団ホームページからダウンロードできます。</p> <p>https://www.osakagas.co.jp/company/efforts/fukushi/jyosei/fukushi_detail.html</p>

Vol.1

コロナ禍でも頑張るボランティア・市民活動団体をご紹介します
ミッキーカルテット

コロナ禍によりボランティア・市民活動の自粛を余儀なくされ、思うように活動することが難しい状況が続いています。そんな中でも積極的な活動を展開する団体をご紹介します。

ミッキーカルテットはハーモニカバンドとして結成し、ふれあいサロンやデイサービスセンター、自治会の夏祭りなどを訪問し、懐かしの歌謡曲、童謡、ポピュラー音楽などを、ギターやパーカッション、歌を交えながら演奏しています。4人のメンバーは若いころから音楽に親しんできた人、仕事や子育てが一段落して初めて楽器を手にした人など様々ですが、コロナ禍でも音楽への熱意は変わっていません。代表の坂田さんは「演奏を通して、音楽の幸せを運びたい。聴いている人が喜んでくれると、自分たちも嬉しい」、「新型コロナウイルスにより活動の機会は減ってしまっているが、いつでも声がかかれば腰が曲がっても演奏に行きたい」と笑顔で話してくれました。



先日、ミッキーカルテットが出演するふれあいサロンにお邪魔させていただきました。会場では、新型コロナウイルス感染症対策として、検温や消毒、参加者の方々にマスクを着けてもらう工夫がされていました。ハーモニカ演奏や歌を聴いて、参加者は体を揺らしたり、手拍子をしたり、マスクをつけて口ずさむなど、楽しんでおられる様子が見られました。旧三木鉄道駅舎が会場とあり、列車や旅にちなんだ曲も演奏されるなど、一緒にその場にいるだけでワクワクする時間でした。

コロナ疲れにより、特にサロンに来る高齢参加者の気分の落ち込みや意欲低下が危惧されます。音楽を通して、そんな方々の気持ちが明るくなり、日々の生活やちょっとした外出が楽しくなる活動をミッキーカルテットは目指しています。コロナ禍の対策として様々な制限があり、今まで通りの活動が難しい現状にはありますが、だからこそ頑張るミッキーカルテットの今後の活動が楽しみです。

